

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宜野湾市	代表者名	松川 正則
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	市民図書館
担当者役職	図書館長	担当者氏名	金城 広郁
住所	901-2214 沖縄県宜野湾市宜野湾市野嵩1-1-1		
連絡先電話番号	098-917-4645		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	図書館サービス・デジタル化整備事業
概要	全書籍データ管理によるシステム構築や電子図書館サービスの導入、GIGAとの連携も含めた読書活動の推進等、図書館サービスのデジタル化を図りたいので、全国の先進事例や具体的取り組み等、アドバイスをお願いします。		
支援を求める分野	教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年8月22日	支援・助言&講演(実地)	10時30分	17時30分	70
				活動時間（分）	350
2-2. 派遣場所	会場名	宜野湾市立博物館と宜野湾市民図書館	最寄駅	モノレール古島駅	
	所在地	宜野湾市真志喜1-25-1・同市我如古3-4-10	最寄駅からの交通手段	タクシー	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	現地訪問した市立博物館では、図書室や書庫にある未整理資料について、デジタルアーカイブを活用した具体的な実例を交え助言アドバイスをいただいた。外部からの客観的な指摘は初めてとのことで大変喜ばれた。その後、市民図書館でデジタル技術を活用した図書館サービスのあり方について講演。アドバイザー自身の経験や他図書館の実例、豊富な資料を用いた大変分かりやすい内容でした。DXにも言及しデジタル技術の利便性と脆弱性、図書館運営の課題等、全国の実情を交えて説明を受けた。また学校図書館の課題について、公共図書館の関わり方、人材育成等、研修参加者で課題の共有が図れた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	30人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	1	
	住民		
人数	29	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市民図書館には管理システムが導入され蔵書の管理が適正に行われているが、博物館図書室は、郷土資料等が整理されておらず未整備。また学校図書室は破損本も多く子供たちの読書環境は劣悪である。各図書室の蔵書等をデータ管理することで業務の標準化と保有レベルの平均化を図る必要がある。司書の配置体制も不十分であり、デジタル技術を活用しシステム連携を図ることで、業務改善と読書サービスの向上に繋げていきたい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市民図書館を中心としたデータ連携システムを構築している自治体の事例や先進事例の紹介等、最新の図書館サービスの知識習得。図書館サービス改善に向けた課題について、共通認識と意識高揚を図り、具体的取り組みに反映させる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	市立博物館図書室→未整理資料等へのデジタルアーカイブを活用した整理方法。デジタル処理の前に必要となる分類や廃棄作業等、アナログでの事務作業の重要性。人材育成にも助言いただいた。 市民図書館→デジタルサイネージの表示方法や自動貸出し機の配置、データ連携を見据えた蔵書管理のあり方。事務改善に向けたデザイン思考、DX推進体制、電子図書にも助言いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル技術を活用してデータ連携を進めるためのシステム構築については、関係機関との連携を基本とし多くのサービスに関わらせることの重要性と有益性について、具体的事例を交え説明、助言いただいた。参加した図書館職員・博物館・学校司書で課題の共有と意識高揚も図られた。具体的目標が明確となったことで連携して取り組むことも確認できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ① 次年度の実施計画へ反映させるべく、具体的な計画を立てることに参考になる事例等、収穫した情報が豊富にあった。	② 途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	市民図書館と博物館図書室では、現場での視察を通じて、デジタル技術を活用した改善策について具体的助言をいただいたが、学校図書室への視察は行えなかった。 研修会には、学校司書全員が参加したことで、データ管理によるシステム連携の重要性について共通認識を図ることができた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 22人提出(とても分かりやすい9/わかりやすい11/少し分からなかった2) デジタルアーカイブやデータ連携、VR図書館等デジタル技術の活用についての実例紹介が豊富で参考になった。実践に基づく内容で大変勉強になった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	② 次年度に予算化を図り推進する データ連携に向けた3館会議を行い、具体的計画として教育委員会の方針を定める。そしてデジタル技術を活用した施策として実施計画に反映させていく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタル技術を活用した「中央図書館」化を図るとともに、市民ニーズに応える持続可能な図書館サービスを推進していく。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
 なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

4-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

